



災害対応通信機器の設営・伝送実習を実施

～新潟県立柏崎工業高等学校～

7月3日(水)、柏崎工業高校において電気科防災エンジニアコースの3年生28名が災害対応通信機器の設営・伝送実習に参加しました。この実習は、災害時に地域から必要とされる防災技術者の育成を目的に実施したものであり、今年で8回目となります。

はじめに教室で概要説明を行った後、屋外で実習を行いました。屋外では衛星通信装置(Ku-SAT II)の可搬局と衛星携帯電話(ドコモ ワイドスター II)の設営実習と映像、音声の送受信の体験実習を行いました。

国土交通省が災害対応で実際に使用する衛星通信装置を操作できたことは、貴重な体験であったことと思います。

【防災情報課】



(教室で概要説明)



(Ku-SAT II の設営)



(ワイドスターの通話体験)



(Ku-SAT II の衛星補足)



(高感度カメラの操作)

塩沢商工の1年生が八十里越工事を見学

7月4日(木)、塩沢商工高等学校の1年生64名が、八十里越の大規模橋梁工事の工事現場を見学しました。

この見学会は、北陸建設業界の担い手確保・育成に関する取り組みとして実施したものです。

当日は、建設現場で事業概要、橋脚橋梁工事の説明、コンクリートのスランプ試験の実習を生徒が行い工事担当者から具体的な施工方法等の説明を受けました。生徒は、熱心に説明を聞き、積極的に質問をしていました。

【計画課】



5号橋梁 橋脚橋梁工事の説明



コンクリートのスランプ試験に挑戦



完成模型で橋梁全体の説明



見学の記念に全員で記念撮影

令和元年度 長岡国道事務所雪氷研究会を開催しました

7月12日、長岡国道事務所会議室において、新潟大学 和泉名誉教授、長岡技術科学大学大学院 上村教授、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石センター長をアドバイザーとしてお迎えし、令和元年度 長岡国道事務所 雪氷研究会を開催しました。

本研究会は、長岡国道事務所管内における冬期道路管理に関わる雪氷対策や課題への取組みについて、参加者より発表いただき意見交換を行うことで、雪氷に関する課題の解決や手がかりを探ることを目的に、平成10年度より開催しています。

今年度は長岡国道事務所職員をはじめ、アドバイザー、新潟県長岡地域振興局地域整備部、(一社)新潟県融雪技術協会、(一社)日本建設機械施工協会、除雪請負業者等、約50名が参加し、熱心な討論が行われました。

融雪技術の報告として長岡技術科学大学大学院 上村教授の「遠赤外線融雪装置の最適運転条件」の研究をはじめ、6編の取組の報告がありました。雪国における人手不足や高齢化対策といった課題に対する雪氷技術の新たな取組み・研究が必要であることを認識する研究会となりました。
【保全対策官(交対・雪寒担当)】



事務所長による開会の挨拶



雪氷研究会の開催状況



雪氷研究会の発表状況①



雪氷研究会の発表状況②

塩沢商工の2年生が柏崎トンネル工事を見学

7月23日、塩沢商工高等学校の2年生14名が、柏崎トンネル工事現場を見学しました。

この見学会は、北陸建設業界の担い手確保・育成に関する取り組みとして実施したものです。

当日は、建設現場で事業概要、柏崎トンネルの掘削について、工事担当者から具体的な施工方法等の説明を受けました。生徒からは、仕事の「やりがい」について質問があったことから、この現場見学会を通じて建設業に更に興味を持ってもらったことと思います。

【計画課】



現場事務所 柏崎トンネル工事の説明



BOXの壁面を使いトンネル掘削ビデオ説明



防水シートの説明



見学の記念に全員で記念撮影

柏崎大花火大会を前に道路をきれいにしました！

7月25日、柏崎地区工事安全対策協議会20名が、国道8号の歩道清掃を実施しました。

この清掃は、例年多くの人が訪れる、ぎおん柏崎まつり海の大花火大会を前に、歩道内のゴミ・砂利・草など歩行者の通行障害となるものについて除去したものです。

当日は、約4kmの歩道(道路2kmの両側)を概ね1時間程度清掃を行いました。花火大会に訪れた方には、きれいになった歩道を通行して、きれいな花火を楽しんでもらえたことと思います。

【柏崎維持出張所】



市街地部の清掃



郊外の清掃



たくさんのゴミを回収しました



翌日の花火大会

優良工事等の表彰式を行いました

7月29日、優良工事等の事務所長表彰式が長岡国道事務所にて執り行われました。

※受賞者は別紙記者発表のとおり

http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/file/press/190725_press.pdf

平成30年度に完成した長岡国道事務所管内の工事60件、委託業務60件の中から工事の施工や業務の成果等を考慮し、優良工事の部門では3件の工事及び3名の優良建設技術者、優良委託業務の部門では2件の業務及び4名の優良建設技術者が事務所長表彰として表彰されました。また、優良工事における下請負者の部門で3社の下請負者及び3名の専任技術者が事務所長表彰として表彰されました。

北陸地方整備局長表彰者も含め、13社28名の会社関係者及び受賞技術者に御列席いただき、松永事務所長より表彰状の授与と、併せて7月18日に執り行われた局長表彰の披露が行われました。

その後、受賞者を代表して株式会社文明屋の専務取締役大野康様より「地域住民の皆様の安全安心な暮らしを実感していただくことを建設業の使命と考え、安全で高品質の施工はもとより、新技術、新工法の開発に務め、強靱な国土づくりに貢献できるよう一層の努力を重ねていく所存です」との謝辞をいただきました。



記念撮影後に開催した懇談会では、受賞対象となった工事及び業務について、各社及び受賞技術者の方から、従事した工事・業務の苦労した点や創意工夫などについて意見交換を行いました。

【総務課】